

第6分科会 第3会場

「共同組織の“わ”を強め、
あらたな担い手を広げるとりくみ」

第一セントラルビル2号館 8F アース

演題番号 6-3-1

| 県連名 | 所属共同組織名又は事業所名 | |
|-----------------|---------------|-------|
| 三重 | みえ医療福祉生活協同組合 | |
| 発表者氏名 | 所属と役職 | 分科会番号 |
| ウエダ ナミ 上田 奈美 | 組織部 | 第6分科会 |

| 発表テーマ |
|------------------------|
| つながり。ひろがれ。みえ医療福祉生活協同組合 |

内容（発言要旨）

コロナ禍で伊勢地域の組合活動も縮小を余儀なくされました。加えて組合員の高齢化、組合員数や担い手の減少も大きな課題もあり、今までの活動の見直しを行いました。組合員を中心に、「組合員のために」してきた活動ではなく、医療福祉生協の枠をこえ、「地域を超えて」「世代を超えて」繋がる活動づくりを進めることにしました。

フードドライブ提供先であった、生協外部の子ども食堂さん。四季折々の企画を一緒にして、私たちの今までの活動にはいなかった親子世代と関わる機会になりました。組合員の得意分野で関わることができ、組合員の輝ける場所にもなりました。

地元的大学生とも交流を深めるように進めています。地域の班会に遊びにきてもらったり、コープみえ様と共催の健康まつりに、大学生がボランティアで手伝ってくれたり。

他団体と繋がることで、医療福祉生協としての活動の幅も広がり、担い手づくりに繋がりました。まだまだ課題は多く残りますが、「組合員のために」から「組合員とともに」を目指し、活動を広げていきたいと思ひます。

| 所属している組織の概要 | |
|--|---------------------------|
| みえ医療福祉生協は、県内5地域が2011年に合併した法人。その一つ、伊勢地域は創立してまもなく50周年。来春には伊勢民主診療所の建替えオープンを予定。組合員数は県全域37,211人、伊勢地域3,517人。 | |
| TEL 0596-24-7141 | メール micoop.ise2@gmail.com |

演題番号 6-3-2

| 県連名 | 所属共同組織名又は事業所名 | |
|------------------|---------------|-------|
| 大阪 | 健康友の会みみはら | |
| 発表者氏名 | 所属と役職 | 分科会番号 |
| コガ ミツマサ 古賀 光政 | もず支部 支部長 | 第6分科会 |

| 発表テーマ |
|--|
| 支部結成から8年かけて、4課題の達成めざした活動。特に協同基金の積み立て参加者を増やしてきた活動について |

内容（発言要旨）

支部結成から8年。支部結成と同時にマンション1階2DKに、ともの家『なごみ』もオープンしました。人通りの少ない場所で、開所当初は人集めに苦労しましたが、徐々にサークルも増え参加者も増えてきました。支部長の「せめて法人が負担している家賃分くらいは協同基金を集めたい」の思いから、世話人ですら積み立てしていなかった状況から、現在、サークル参加者のほとんどの会員が参加。登録会員数は160人年間1000件の積み立てがあり、これは友の会全体26支部中のトップです。毎月1000円、2000円と少額ですが、多くの会員の参加で金額も130万円になりました。ともの家も改装して広くし、より多くの会員が集まれるよう工夫しました。新しい世話人の繋がりでサークルも増やしてきましたが、特に『うたごえ』は大好評。地域の会館を借りて月に1回実施し、初参加の会員や新入会員も増え、登録人数は66人になりました。『いつでも元気』読者も増えて39部。これも全体のトップです。担い手を増やし、支部結成してからすぐに郵送をなくしました。この流れを作った教訓などをお話したいと思ひます。

| 所属している組織の概要 | |
|--|-----|
| 大阪府堺市北区百舌鳥地域 その地域の人口は約30000人で共同組織の会員数は約1100人 | |
| TEL 090-7107-4324 | メール |

演題番号 6-3-3

| 県連名 | 所属共同組織名又は事業所名 | |
|------------------|------------------|-------|
| 東京 | 中野・杉並健康友の会 | |
| 発表者氏名 | 所属と役職 | 分科会番号 |
| ウエキ コウジ 植木 紘二 | 中野・杉並健康友の会 会長 | 第6分科会 |

| 発表テーマ |
|---------------------------------------|
| 仲間増やしを友の会と職員と力を合わせて目標の超過達成（月間目標、年間目標） |

内容（発言要旨）

1. コロナ禍で大幅に退会者が出たにもかかわらず。この4年間は拡大数が減少して後退傾向に歯止めがかからなかった時期。4年間で会員数が減少しているにもかかわらず、拡大も友の会活動も多くの制限など困難な中で前に進めなかった。
2. 2023年度は、絶対、全身の流れを作らないと友の会どころか、民医連の医療活動にも影響が出かねないという危機感でどう克服しなければならないかという視点で意思統一。
3. 友の会の前進は、健友会の前進であり、健友会の前進は友の会の前進につながると訴えてきた。
4. 友の会の役員が先頭に立つと同時に、健友会の診療所事務長会議、病院職員全体会、理事会とともに困難を乗り越ろうと申し入れて、お願いをしてきた。診療所事務長や病院の外來窓口の職員が拡大の先頭に立ってくれた。
5. サークルは減ったとはいえ、全体でサークルの活発化を進める。班会の組織、空白地域で健康チェックの取り組みの組織化、研修など。
6. 2024年度は月間をまたずに少しずつ拡大を積み上げるにはどうしたらよいかに挑戦したい。サークルはもちろん、班会や健康チェックも。

| 所属している組織の概要 | |
|--|-------------------------------|
| 中野区と杉並区にまたがる共立病院と共立診療所など計9カ所の診療所、訪問看護ステーション、薬局。中野・杉並健康友の会と9カ所の診療所ごとに9つの友の会がある。会員数は、合計6千世帯。 | |
| TEL 090-2416-0864 | メール kouji.ueki.0412@gmail.com |

演題番号 6-3-4

| 県連名 | 所属共同組織名又は事業所名 | |
|-----------------|---------------|-------|
| 栃木 | 栃木保健医療生活協同組合 | |
| 発表者氏名 | 所属と役職 | 分科会番号 |
| カトウ フカ 加藤 和夏 | 地域活動部 | 第6分科会 |

| 発表テーマ |
|------------------------------|
| 大学生とひろげる“わ” —宇都宮東支部から元気を届ける— |

内容（発言要旨）

宇都宮東支部は昨年6月に設立25周年を迎え、多彩な支部活動を展開している支部である。

東支部のたまりば「陽だまり」では、毎月さまざまな企画や、班会を開催。「陽だまり」の近くには大学があり、組合員のつながりから、学生が健康麻雀や料理班へ参加するようになった。組合員と学生との多世代交流が生まれ、お互いが刺激を受ける双方向の関係を築いている。

班会に参加する学生は地域活動に興味があり、組合員に加入するだけでなく、「ぐるめっちょ班」という学生の班会をつくった。学生の「キッチンカーを使い地域で活動をしたい！」という目標を実現するために、「陽だまり」を拠点に準備をしている。

今春は、学生の発案により学生団体「白白公民館」と支部が共催し、進学を機に1人暮らしを始める学生のためのバザーを2回開催した。

生協全体として組合員の高齢化が進んでいる一方で、大学生というつながりができ、さらにそこから活動を発展させ、支部にとって新たな活力が生み出されている。

| 所属している組織の概要 | |
|--|----------------------------------|
| 栃木県を拠点とし、宇都宮市で2カ所の診療所と、6つの介護事業所を運営する。組合員数は12,798名おり、9支部と4つの「たまり場」を有する。班会は年間855回、参加組合員は累計6,582名である。 | |
| TEL 028-600-1606 | メール waka.kato@tochigihoken.or.jp |

演題番号 6-3-5

| 県連名 | 所属共同組織名又は事業所名 | |
|---------------|---------------|-------|
| 福岡 | 社会医療法人親仁会 本部 | |
| 発表者氏名 | 所属と役職 | 分科会番号 |
| ヨネムラ 米村 理恵 | 総務部課長 | 第6分科会 |

| 発表テーマ |
|--------------------------|
| スクエアステップサークルを通じた新たな繋がり作り |

内容（発言要旨）

親仁会とありあけ健康友の会がある福岡県大牟田市は、人口11万人、65歳以上が3人に1人の地域です。地域の高齢化で会員の減少や担い手不足により班会の数は半減し、会員の筋力の低下が顕著になりました。この問題の打開策として「新たな取り組みとしてサークル活動を作ろう」と試み、「スクエアステップ」の活動を取り入れる事としました。サークルや班会で「スクエアステップ」を行い、また「友の会だより」への掲載、案内ビラを配布しました。その結果、今まで友の会活動に参加した事のない会員さん等から多くの問い合わせがあり、毎回新しい方がサークルに参加する事によって、班会などの友の会の行事にも新しい方が参加するようになりました。効果としては、「筋力がついてきた」「外に出る機会が増えた」などの声が寄せられています。今後も高齢化、人口減少の問題は続きますが、友の会と職員が一緒になってコミュニティ作りと担い手作りを目指していきます。

| 所属している組織の概要 | |
|---|-------------------------------|
| 活動地域は、福岡県大牟田市。活動地域の人口は約11万人。所属する共同組織の人数は約25,855人。 | |
| TEL 0944-53-2711 | メール r-yonemura@kome-net.or.jp |

演題番号 6-3-6

| 県連名 | 所属共同組織名又は事業所名 | |
|--------------|-------------------|-------|
| 埼玉 | 医療生協さいたまかすかべ生協診療所 | |
| 発表者氏名 | 所属と役職 | 分科会番号 |
| ヒラシマ 平嶋 悟 | まちづくり コーディネーター | 第6分科会 |

| 発表テーマ |
|--------------|
| お手紙作戦で広がりづくり |

内容（発言要旨）

埼玉県南部地域では新しい担い手を増やす取り組み『全集中担い手増やし』を2022年から開始している。

担当している地区は車がないと買い物や通院するのも困難な地域だ。また運営委員・機関紙配布をしている組合員も年齢を重ね高齢化が進んだ。免許返納や持病の悪化などの要因で「運営委員を辞めたい」「配布することが出来なくなった」と連絡を受ける件数が年々増えている。各支部で定例開催している健康ひろばなどの参加メンバーも固定化しているため新しい参加者を増やす取り組みも急務となっている。

別地区で取り組みをした『お手紙作戦』を担当地区でもおこなっている。

新たな担い手になってくれる方を発掘するために対象者60歳～75歳までの方へ向けた『お手紙作戦』の状況を報告する。

| 所属している組織の概要 | |
|--|--------------------------------|
| 活動地域は、埼玉県久喜市、白岡市、蓮田市、幸手市、宮代町、杉戸町の6自治体。利根南地区の人口は約39万人。組合員数は3,298人 | |
| TEL 070-2154-7361 | メール k-sosiki@mcp-saitama.or.jp |

演題番号 6-3-7

| | | |
|------------------------|---------------|-------|
| 県連名 | 所属共同組織名又は事業所名 | |
| 愛媛 | 愛媛医療生活協同組合 | |
| 発表者氏名 | 所属と役職 | 分科会番号 |
| ムラセ 村瀬 ミズエ 瑞恵 | 今治中支部 支部長 | 第6分科会 |

| |
|-------------------------------|
| 発表テーマ |
| 支部活動を通じて、地域の人とつながり、健康の輪を広げよう！ |

内容（発言要旨）

元々の知り合いで、担い手交流会でも度々うたごえを担当してもらっていた。コロナ禍で中止になっていた、あおぞら健康チェックを再開した時に、タイミングよく通りかかり、声をかけて参加してもらった。自分の体組成などがチェック出来ることに感激。必要性を感じて、自分のサークル仲間にも取り入れたいと要望をもらった。三役で丁寧に関わりながら、どんなことがしたいか、スケジュールはどうなのかなど何回も連絡を取り合って信頼関係を築いていった。その結果、3月にうたごえ班会が誕生し、仲間増やしが達成した。

演題番号 6-3-8

| | | |
|-------------------------|--------------------------|-------|
| 県連名 | 所属共同組織名又は事業所名 | |
| 大阪 | 大阪みなみ医療福祉生活協同組合 堺北診療所 | |
| 発表者氏名 | 所属と役職 | 分科会番号 |
| ハタノ 波多野 ヤスキ 泰輝 | | 第6分科会 |

| |
|--------------|
| 発表テーマ |
| 担い手づくりの取り組み |

内容（発言要旨）

しんどい課題である担い手づくりにあたって、まずはできることから始めようと、担い手づくりとしては比較的ハードルの低いと思われる、地域での機関紙手配り配布協力者を増やすことに取り組むことにした。機関紙手配り配布協力者さんは、支部の運営委員の重要な候補者にもなり得る。しかし、当診療所の規模・職員体制では、地域訪問活動を頻繁に行うことが難しいため、簡単な配布協力者募集のビラを作成し、機関紙に折り込んで配布することにした。その結果と活動の報告をします。

| | |
|--------------------------------|--------------------|
| 所属している組織の概要 | |
| 活動地域は愛媛県今治市、人口15万人、支部の組合員数930人 | |
| TEL 090-7142-1466 | メール mizuem@mac.com |

| | |
|--|--------------------------------|
| 所属している組織の概要 | |
| 活動地域は、大阪府堺市堺区。活動地域の人口は約15万人。所属する共同組織の人数は約5,600人。 | |
| TEL 072-233-6569 | メール kumikatu-3@osakaminami.net |

演題番号 6-3-9

| 県連名 | 所属共同組織名又は事業所名 | |
|----------------|---------------|-------|
| 石川 | 石川勤労者医療協会 | |
| 発表者氏名 | 所属と役職 | 分科会番号 |
| ウジタ ミコ 氏田 都 | 健康推進部 | 第6分科会 |

| 発表テーマ |
|--------------------------|
| 「共同組織と民医連を学ぶ移動学習会」に取り組んで |

内容（発言要旨）

石川県健康友の会連合会では、担い手・後継者対策として「共同組織を丸ごと学ぶ講座」を9年前から毎年開催。共同組織の歴史や活動、民医連事業所の歴史、綱領、理念などを学び交流してきました。年々受講者が減り、各支部でも担い手・後継者問題も深刻化しつつある中、より誰でも楽しく気軽に学べるものになろうと、現地に足を運び直接見て聞いて交流する「共同組織と民医連を学ぶ移動学習会」を新たに開催しました。活動が進んでいる地域の居場所と事業所へ出かけ経験を聞き交流する内容としました。お互いの支部活動の活性化につながり、それぞれの地域の共同組織や民医連事業所の歴史と果たしている役割を学ぶ機会は担い手づくりにつながりました。

演題番号 6-3-10

| 県連名 | 所属共同組織名又は事業所名 | |
|-------------------|---------------|-------|
| 愛媛 | 愛媛医療生活協同組合 | |
| 発表者氏名 | 所属と役職 | 分科会番号 |
| ヤマシタ アケミ 山下 曙美 | 三津浜支部 支部長 | 第6分科会 |

| 発表テーマ |
|-----------------------------|
| 多世代参加の取組み 一浜っ子クラブ・ハロウィンナイトー |

内容（発言要旨）

組合員の高齢化に伴い、支部の活動規模が徐々に小さくなってきています。支部運営委員の高齢化も深刻化しており、世代交代・支部の若返りは急務となっています。

しかしこれまでの活動は高齢者向けのものが多く、若い世代特に子育て世代と関わる活動がほとんどありませんでした。

そこで、世代間交流の「場」の提案から、支部活動の中心である三津浜商店街近辺の小学生を育てる組合員さんやそのお友達を中心に声かけをして、小さい子どもたちが参加しやすい企画を実施することとしました。

実施時期が秋となることから、近年イベントとして注目されるハロウィンテーマに支部イベントを開催し、それに参加していただいた方々をメンバーとした「浜っ子クラブ」を結成しました。

これまでに「ハロウィンナイト」を4回開催し、商店街の方々や近隣在住の組合員さんの協力も徐々に増えてきています。

しかし、出発点がハロウィンだったこともあり、ハロウィンの時だけしか「浜っ子クラブ」が開催できない問題があったり、子供たちの入れ替わりによるメンバー確保の課題も出てきています。

| 所属している組織の概要 | |
|--|--------------------------------|
| 石川県健康友の会連合会として活動地域は県内全域、7つのブロックで運営委員会を設け、友の会支部は39支部、行政の15市町/19市町に支部がある。県内の人口は約111万人、世帯は49.7万。共同組織の会員は49707人。 | |
| TEL 076-253-1540 | メール lapaz@ishikawa-kinikyoo.jp |

| 所属している組織の概要 | |
|--|------------------------------|
| 愛媛県松山市の北西部、瀬戸内海を望む三津と呼ばれるところが主な活動地域です。組合員数は現在約620人。助け合いの会「なごみの会」を中心に活動しており、高齢者の多く住む地域です。 | |
| TEL 090-1327-6789 (地域事業担当) | メール yamamototu@ehime-med.org |

演題番号 6-3-11

| 県連名 | 所属共同組織名又は事業所名 | |
|-------------------|----------------|-------|
| 大阪 | 医療福祉生活協同組合おおさか | |
| 発表者氏名 | 所属と役職 | 分科会番号 |
| フジオカ トシオ 藤岡 俊夫 | 理事 | 第6分科会 |

| 発表テーマ |
|---|
| 子育て世代への認知度アップと次世代へのバトンタッチへの礎づくりへの「たしま子ども夜店まつり」の取り組み |

内容（発言要旨）

組織の高齢化が進み機関誌の手配りさんや担い手の減少による様々な障害が生まれてきています。組合活動の次世代へのバトンタッチが急がれる事態になってきているのではないのでしょうか？そこで、1. 子育て世代に事業所を紹介し認知度を高める2. 組合員活動の次世代へのバトンタッチの礎づくり3. 地域の諸団体との繋がりづくり4. 組合員と職員の交流の場5. 組合員・職員・地域の人々の楽しみの場づくりを実施目的として取り組まれたのが「たしまこども夜店まつり」です。実施を決めたのは早い時期だったにも関わらず初めての取り組みで全然準備が進まず、右往左往しながらの取り組みになりました。まつり当日は、開始の5時10分前には2組の親子連れしか来られていなくて、「失敗か？」と不安になりました。しかし、開始時間になるやいなや自転車部隊が押し寄せ、結果子連れの若いお母さんお父さんたち350人が参加され、田島診療所の前の駐車場、1階待合室、2階デイサービス室、3階会議室が満員お礼の状態になりました。用意したイベントに子どもたちの長だの列がいくつも出来、子どもたちと親御さん・組合員・職員の笑顔が事業所内に溢れました。参加した組合員・職員に感想を聞くと第一声は「こんなに生野区に子どもがいたのか？」(笑)でした。「たしま子ども夜店まつり」成功の余波は大きく、以降の取り組みのキーワードとして「子ども」が浮上り子育て世代を意識した取り組みになって行きました。秋に4年ぶりに実施された「平和・健康まつり」も「平和・健康・子どもフェスタ」に名前を変更。まつりの内容も「子ども」を意識したプログラムに変更し、子ども連れの参加者が大きく増え子どもコーナーには、長い列がいくつも出来ました。今後は、これらの取り組みの中での新たなつながりを生かし次世代への礎を確実なものにしていく決意です。

| 所属している組織の概要 | |
|--|---------------------------|
| 担当地域は大阪市生野区、東住吉区、平野区、主な活動は生野区を中心に行っています。生野区の人口11万6千人、組合員5千人、東住吉区12万7千人、平野区の人口18万9千人、2行政区で1支部、1500人 | |
| TEL 090-3716-4156 | メール t-fujioka@asuka18.com |

演題番号 6-3-12

| 県連名 | 所属共同組織名又は事業所名 | |
|-------------------|---------------------|-------|
| 愛媛 | 愛媛医療生活協同組合 | |
| 発表者氏名 | 所属と役職 | 分科会番号 |
| タドコロ シンジ 田所 真司 | 愛媛医療生活協同組合 道後支部長 | 第6分科会 |

| 発表テーマ |
|------------------------|
| 担い手交流会をとおしてステップアップを目指す |

内容（発言要旨）

コロナ禍により、場活動は一部を除き停滞（12箇所のうち2箇所のみ活動）していたが、5月8日より第五類感染症に移行し、他支部の場活動開催などに刺激され、感染予防を徹底しながらの活動再開機運が生まれた。また、新たな場として『あいあいカフェ』が生まれ、尿検査、体組成や血圧測定等のあと、健康談義や日常生活交流が行われた。そこでは、健康フェスタ及び担い手交流会の進め方について、皆が参加して楽しめる行事にしようと深掘りされる意見交換の場所ともなり、今度の担い手交流会は『医療生協に親しみを感じ、楽しい場所と思って、もう一度参加したいと思える会にする』を目標にしようと意見が一致した。それから、三役会や運営委員会、あいあいカフェなどで『医療生協の特徴・道後らしさ・楽しむ』内容を、どのように造るかの工夫が始まり、当日は参加者全員が楽しめた交流会になりました。

| 所属している組織の概要 | |
|---|---------------------------|
| 道後支部エリア（道後樋又ほか22町）支部組合員数：521人。機関紙配布数：436部。機関紙手配り数：391部。増資件数：16。場数：12。場組織組合員数：36人。担い手数40人。支部小学校数：2 | |
| TEL 080-9532-6510 | メール ikasarete@icloudo.com |